

CASBEE-建築(新築)2016年版
人工知能に関するグローバル研究拠点 柏ハブ拠点研究棟(仮称)整備事業

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE 柏2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
		Q 建築物の環境品質						3.3	
Q1 室内環境			0.40	-	-	3.3			
1 音環境		2.5	0.15	-	-	2.5			
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	-	-				
1.2 遮音		2.8	0.40	-	-				
1 開口部遮音性能		3.0	0.30	-	-				
2 界壁遮音性能		3.0	0.30	-	-				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		1.0	0.20	-	-				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	Lr:35。	4.0	0.20	-	-				
1.3 吸音		1.0	0.20	-	-				
2 温熱環境		2.9	0.35	-	-	2.9			
2.1 室温制御		4.0	0.50	-	-				
1 室温	冬期26℃、夏季26℃設定。	4.0	0.60	-	-				
2 外皮性能	断熱性能の良い建具を採用している。	4.0	0.40	-	-				
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-				
2.2 湿度制御		3.0	0.20	-	-				
2.3 空調方式		1.0	0.30	-	-				
3 光・視環境		4.1	0.25	-	-	4.1			
3.1 昼光利用		4.2	0.30	-	-				
1 昼光率	昼光率:2.5以上。	5.0	0.60	-	-				
2 方位別開口		-	-	-	-				
3 昼光利用設備		3.0	0.40	-	-				
3.2 グレア対策		4.0	0.30	-	-				
1 昼光制御	ブラインドと庇を組み合わせてグレアを制御。	4.0	1.00	-	-				
3.3 照度		3.0	0.15	-	-				
3.4 照明制御	明るさセンサーで制御。	5.0	0.25	-	-				
4 空気質環境		3.8	0.25	-	-	3.8			
4.1 発生源対策		3.0	0.50	-	-				
1 化学汚染物質		3.0	1.00	-	-				
4.2 換気		4.3	0.30	-	-				
1 換気量		3.0	0.33	-	-				
2 自然換気性能	自然換気有効開口面積は居室面積の1/15以上。	5.0	0.33	-	-				
3 取り入れ外気への配慮	空気の取り入れ口の方位には排気口は無い。	5.0	0.33	-	-				
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-				
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-				
2 喫煙の制御	全館禁煙である。	5.0	1.00	-	-				
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.6			
1 機能性		3.4	0.40	-	-	3.4			
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-				
1 広さ・収納性		-	-	-	-				
2 高度情報通信設備対応		-	-	-	-				
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-				
1.2 心理性・快適性		4.0	0.30	-	-				
1 広さ感・景観	天井高:3.2m以上。	5.0	0.50	-	-				
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-				
3 内装計画		3.0	0.50	-	-				
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-				
1 維持管理に配慮した設計	維持管理に配慮した内装材の使用や性能を確保。	4.0	0.50	-	-				
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-				
2 耐用性・信頼性		3.4	0.30	-	-	3.4			
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.8	0.50	-	-				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	重要度係数:1.25。	4.0	0.80	-	-				
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-				
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.30	-	-				
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床:ビニル床シート、壁:EP塗、天井:ロックウール吸音板を使用。	5.0	0.10	-	-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水:ステンレス鋼管、排水:ビニル管(VP)、冷媒:銅管を採用。	4.0	0.20	-	-				
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-				
2.4 信頼性		3.0	0.20	-	-				
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-				
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-				
3 電気設備		3.0	0.20	-	-				
4 機械・配管支持方法	耐震クラスA。	4.0	0.20	-	-				
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-				

3 対応性・更新性			4.0	0.30	-	-	4.0
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	
1 階高のゆとり	階高:3.9m以上。		5.0	0.60	-	-	
2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.1以上0.3未満。		4.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり	床:3500N/㎡であり架構・地震用に割増がある。		5.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.0
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.8
1 建物外皮の熱負荷抑制	断熱性能の高い建築材の採用。		5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] = 0.72		3.8	0.50	-	-	3.8
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.8
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水	過半に節水器具の採用。		4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			4.0	0.60	-	-	4.0
2.1 材料使用量の削減	フラットデッキ、プレボアリング拡大根固め工法等の採用。		4.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	ビニル床材、断熱材、再生クラッシュラン		5.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上げの分別が容易な構造(LGS下地)の採用等。		5.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.20	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用	2種類の材料を計画している。		4.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	ODP=0、GWP<50の断熱材を使用。		4.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮	高効率な設備機器の採用によるCO2の削減。		3.7	0.33	-	-	3.7
2 地域環境への配慮			3.6	0.33	-	-	3.6
2.1 大気汚染防止	燃焼機器を設置していない。		5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.7	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減	雨水抑制対策を実施している。		4.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制	利便性、渋滞緩和に配慮した駐車場計画等。		5.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.4	0.33	-	-	3.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.3	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			-	-	-	-	
3 日照阻害の抑制	日影規制に対して1ランク上の基準を満たしている。		4.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	周囲への漏れ光に配慮した屋外照明計画。		5.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	